

自己点検及び評価 2019年度

評価欄に「A：適切に実行している」「B：概ね実行している」「C：あまり実行していない」「D：実行していない」の4段階で記入。

	評価基準		点検・評価項目	評価
1	教育の理念・目標	1の1	学校の理念、目的・目標や育成する人材像が明確となっているか。	A
		1の2	学校の理念、目的・目標や育成する人材像が社会のニーズに合致したものとなっているか。	B

育成する人材像ははっきりしているものの、学生の意識改善、指導法を学生に合わせたものに改善する必要がある。

2	学校運営	2の1	学校の運営体制が日本語教育機関の告示基準を満たしているか。	A
		2の2	学校の理念や目的に沿った運営方針や事業計画が策定されているか。	A
		2の3	組織運営や人事、財務管理に関する規定や意志決定システム、コンプライアンス体制が整備されているか。	A

3	教育活動	3の1	教育理念等に沿った教育課程が体系的に編成されているか。	B
		3の2	成績評価や進級、修了の判定基準は明確となっているか。また、適切に運用されているか。	A
		3の3	教員の指導力向上のための取組、教育課程の改善のための取組が行われているか。	B

学生の意欲、環境により合った教育課程の更なる見直しが必要。
成績については校内の基準に従い判定した。
専任教員による授業見学を不定期に行い授業の質の改善を試みたが、成果が見られない場合もあった。

4	学修成果	4の1	生徒の日本語能力の向上が図られているか。	B
		4の2	生徒の日本語能力を適切に把握しているか。	A
		4の3	生徒の進路を適切に把握しているか。	C

学生の学習状況、理解度の把握はできているが、日本語力向上のためにどのように指導していくのか検討が必要。
進説明会、個別面談を実施したが、進路が明確でない。進路を意識し日々日本語学習に取り組むようにさせる指導が必要。

5	生徒支援	5の1	生徒に対する学習相談や進路に対する支援体制が整備されているか。	B
		5の2	健康管理や日本での生活指導などへの支援体制が整備されているか。	A
		5の3	防災や緊急時における体制が整備されているか。	A

日本にすることに満足し、学習や進路に対する意識が低い学習者が見られる。個別の相談時間を定期的に設ける必要がある。
健康管理についてはコロナウイルスの流行もあり、毎日学生の状態を把握するよう努め、国の要請に応じ休校措置も取った。

6	教育環境	6の1	学校の施設・設備が十分かつ安全に整備されているか。	A
		6の2	教材は適切か。	B
		6の3	学習効率を図るための環境整備がなされているか。	B

施設・設備は規定に合ったものがあるが、休憩時間、授業前後も快適に過ごせるスペースを設けた。
教材はより学生の能力に合ったものになるよう、一層教材開発に努める。

7	入学者の募集	7の1	入学者の募集は適切に行われているか。	A
		7の2	募集の際に学校情報は正確に伝えられているか。	A
		7の3	授業料等は適切か。	A

8	財務	8の1	中長期的に財務基盤は安定しているか。	B
		8の2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	A
		8の3	財務情報の公開の体制はできているか。	A

9	法令遵守	9の1	出入国管理及び難民認定法令及び各種関係法令等の遵守と適切な運営を適切に行っているか。	A
		9の2	個人情報の保護の取組を適切に行っているか。	A
		9の3	自己点検の実施と改善及びその公開を適切に行っているか。	B

自己点検は規定通りホームページにより公開。

10	地域貢献・社会貢献	10の1	日本語教育機関の資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	B
		10の2	生徒のボランティア活動への支援を行っているか。	B
		10の3	公開講座等の実施などの取組を行っているか。	C

今後は文化交流を図れる公開講座を検討していく。